

「公民対話の機会」対話テーマ

東山スカイタワーをより魅力的な公共空間にすると共に改修に要する財政負担

の低減に寄与する事業アイデアについて

所属	緑政土木局 東山総合公園 管理課
概要	<p>・東山公園展望塔（以下、スカイタワー）は防災行政無線中継基地を備えた展望塔として、市制 100 周年事業の一環として平成元年に建設された施設である。開館 40 年を控え諸施設の老朽化が進み、大規模改修が必要となっているが、100m を超える特殊な形状の建物であることから改修には多額な費用（令和 2 年度調査時点で約 61 億円）を要する。</p> <p>・本件は、スカイタワー及び周辺エリアを「より魅力ある公共空間」とし、利用者満足度の向上や財政負担低減を目指すという視点から、民間企業の考えやアイデアを伺い、ともに可能性を探っていきたいと考えるものである。</p>
意見交換したい観点や聞いてみたい点	<p>○ スカイタワー及び周辺エリアを活用した事業の考えやアイデア</p> <p>○ 公民連携手法等による「収益還元の水準」や「資金の直接投入の可能性」の見解や提案</p> <p>○ 公民共創を進めるうえで想定される課題、懸念事項や要望</p>
特に意見交換を希望する業種等	<p>にぎわいと収益を持続的に生みだし、東山スカイタワー及びその周辺を「より魅力ある公共空間」とする事業に関心のある事業者を歓迎します。※業種は問いません。</p> <p>【特に対話を希望する事業者像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園や公共空間を、人が日常的に集まる場へ継続的に育ててきた事業者</li> <li>・自社の事業だけでなく、多様な事業者やイベントを巻き込み循環させるプラットフォーム運営に強みを持つ事業者</li> <li>・公共施設の整備・運営に実績がある事業者</li> </ul>
これまでに実施した施策・関連事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカイタワー大規模改修計画立案</li> <li>・市民意向調査</li> <li>・事業性調査委託（令和 8 年 5 月契約、10 月中旬完了予定）</li> </ul>
備考	<p>・本件では、未確定事項が複数あることを前提とし、率直なご意見・ご提案を伺いたい。未確定事項については、対話で得られた情報等を参考に、検討をすすめていく予定。</p> <p>※本件の対象範囲・前提条件・現状の詳細等は別添資料参照</p>

# 東山スカイタワーをより魅力的な公共空間にする と共に改修に要する財政負担の低減に寄与する 事業アイデアについて

対象：東山公園展望塔（東山スカイタワー）及び周辺エリア

---

名古屋市 緑政土木局 東山総合公園 管理課

令和8年

# 1 施設概要

## ■ 建物概要

### 施設名称

東山公園展望塔（東山スカイタワー）

### 開業

平成元年（1989年）

市制100周年事業の一環として建設

### 構造・規模

鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造  
延床面積 2,929㎡／地上高さ 134m

### 主な機能

- ・ 展望塔（観光・夜景）
- ・ 最上階レストラン
- ・ 防災行政無線中継基地



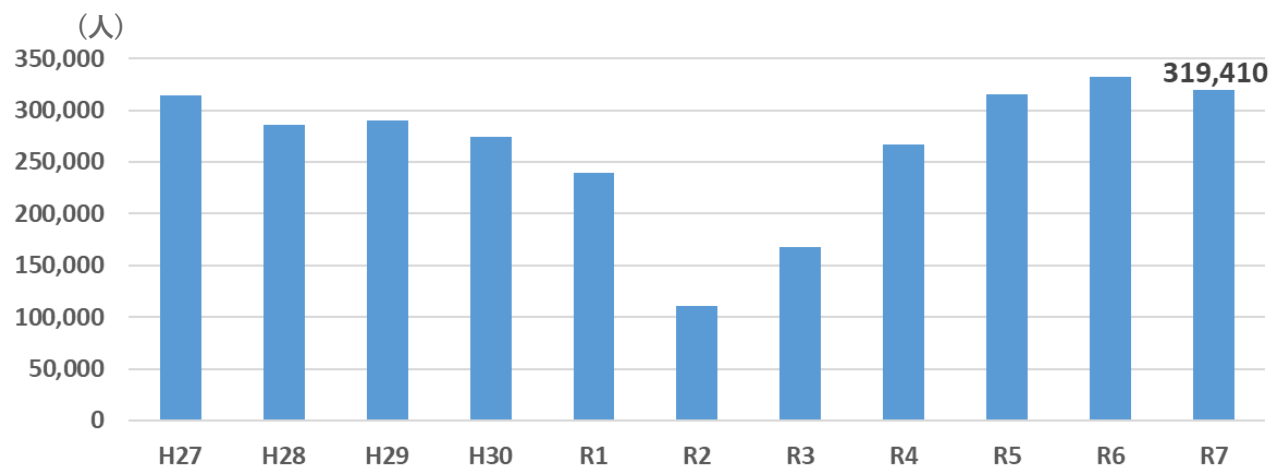
### (各階用途)

階	機能・用途
7階	レストラン
中6階	レストランフロント、設備機械室
6階	厨房、設備機械室
5階	展望室
4階	展望室、制振装置室
3階	無線機械室
2階	アトリウム
1階	エントランス、事務室、機械室 等



# 1 施設概要

## ■ 入館者数推移



概ね30万人程度で推移。  
(東山動植物園入園者の概ね1/10程度の入館者数)

## ■ 観覧料

大人300円／市内65歳以上100円／中学生以下無料／東山動植物園との共通券あり

## ■ 観覧料収入

49,799千円 (R6年度)

## 2 私たちが困っていること

築約35年を超えるスカイタワーの**継続的な利用には大きな課題があります。**

### 施設老朽化の進行

- ・エレベーターや受変電設備等の設備機器が標準更新時期を超過。
- ・外装材の劣化が進行。

### 改修費の規模

- ・高さ100mを超え特殊な形状のため、改修費用が高額
- ・改修にかかる概算費用は61億円  
(令和2年度調査)  
※近年の物価高騰により、更なる改修費用の上昇が想定される。

**改修に要する財政負担の軽減を図るため、従来の事業・手法にとらわれず、民間の力を大いに活用した新たなアプローチを模索しています。**

### 3 東山スカイタワー及び周辺エリアの目指す姿

利用者満足度の向上

改修に要する財政負担の低減

(例)

- ・ 空間の質の向上
- ・ 利用コンテンツの充実
- ・ にぎわいと収益を持続的に生み出す仕組みの構築
- ・ 民間事業による収益の市への還元・改修時の直接活用

魅力・にぎわいを創出する公共空間へ

東山公園全体の  
魅力向上へ  
寄与

## 4 お伺いしたいこと（1）

民間企業の視点・経験から、東山スカイタワー及び周辺エリアの活用についての考えやアイデア、ご提案を幅広くお聞かせいただきたいです。 **今後の公民共創の可能性を、ともに探らせていただけますと幸いです。**

### 1 事業アイデア

スカイタワー及びタワー周辺エリアを、こんなふうに活用した事業ができるかも、というアイデアをお聞かせください。  
自社で継続的に運営する形、いろんな事業者・イベントが循環するプラットフォームを運営する形、整備手法を含む形など、どんな切り口でも歓迎します。

### 2 東山スカイタワー及び周辺エリアのビジョン・コンセプト

東山スカイタワー及び周辺エリアの世界観（誰のための、どんな場にしたいか）は、本対話で得られる意見も参考に、これから固めていく段階です。

### 3 収益還元の水準、改修における資金の直接投入の可能性

市が求める収益還元の水準は現時点では定めていませんが、改修に要する財政負担の軽減に大きく寄与する水準を期待します。また、改修における資金の直接投入の可能性をお聞かせください。

### 4 収益還元スキーム

対話の中で「想定される事業規模」「市への還元方法のイメージ」などをお話いただくと、本市側の仕組み検討の大きな助けとなります。

## 4 お伺いしたいこと（2）

### 5 市との関わり方のイメージ

「市にはこういう関わり方をしてほしいかも」「企業としてはこんな形で関われるかも」といった、ざっくりとしたイメージレベルのお話を歓迎します。

### 6 課題・懸念事項・要望

「ここが決まっていないと話を進めづらい」といった、企業からみた課題や懸念、本市への要望をお聞かせください。

#### ■ お話しいただく際の粒度感（例示）

例えば、こんな会話を想定しています：

「もし弊社が継続的に〇〇のような事業を展開できれば、年間売上△億円規模、市への還元として□%程度のイメージかもしれません」  
このような粒度感のお話で十分です。具体的な金額・パーセンテージは、貴社のビジネスとして「あくまでイメージ」の範囲でお聞かせください。

## 5 公民対話 対象想定範囲

### ■ 公民対話 対象想定範囲

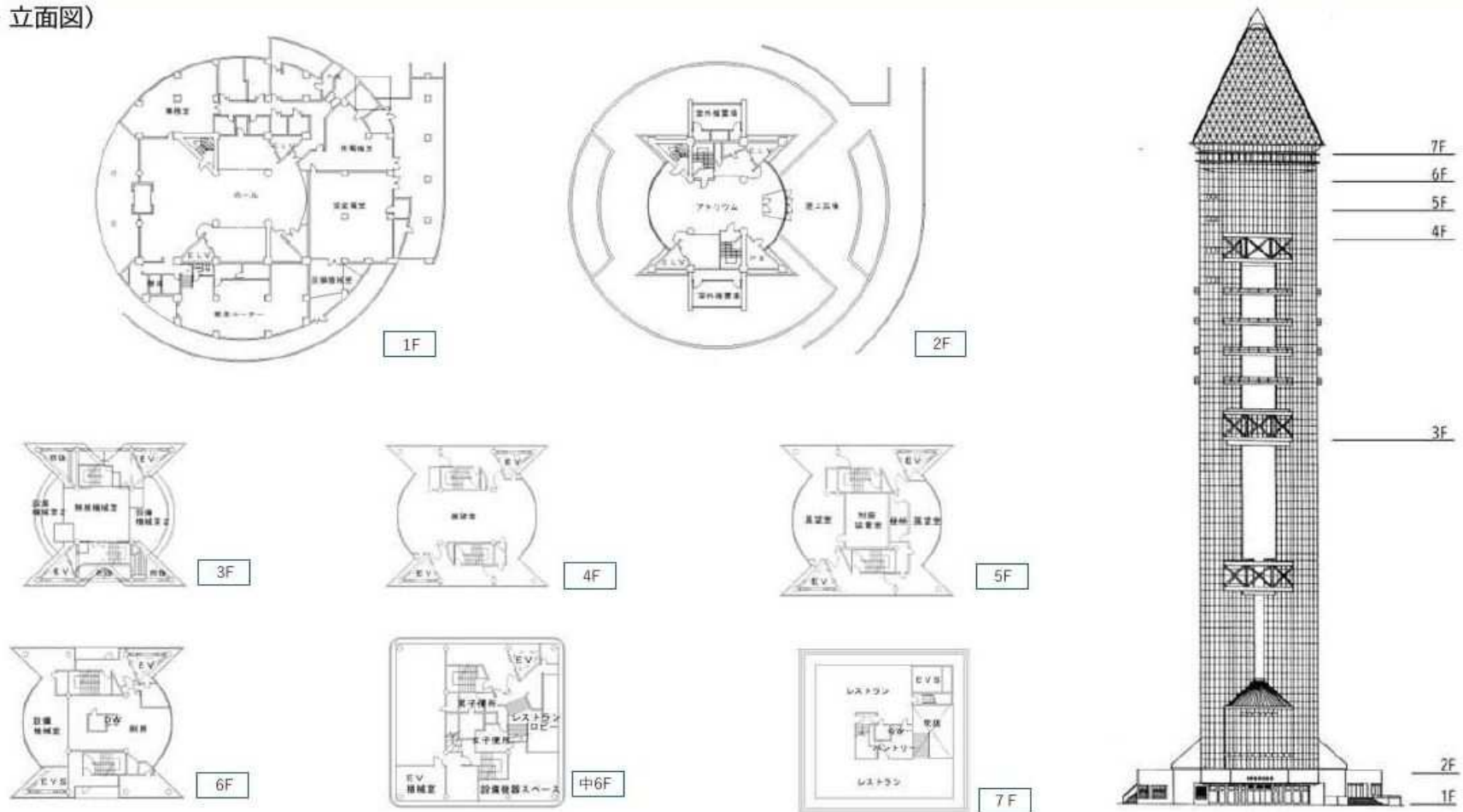


### 【対話における前提条件】

- **対象想定範囲**  
左図の赤点線範囲を想定。  
ただし、想定範囲の外側であっても対話を妨げるものではありません。
- **前提条件**
  - ・ 入園門の配置変更可
  - ・ 駐車場の台数現状維持は必須としない
  - ・ 公園機能との親和性に配慮
- **周辺整備の動き**  
アフリカゾーン (サバンナエリア) 整備が進行中

## 6 参考情報（平面図・立面図）

（平面図・立面図）



**宛先:** 「公民対話の機会」開催のお知らせ [令和8年7月10日(金)]

公民交流フィールド会員 各位

日頃より、公民連携に係る取組にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。  
名古屋市総務局総合調整課の八木と申します。

ナゴヤフロンティア では、行政課題・社会課題の解決や、  
新たな公民連携プロジェクトの創出等につなげていくことを目的として、  
民間企業等の皆さまと市の担当部署とが1対1で意見交換をさせていただく、  
「公民対話の機会」を開催しています。

この度、下記のとおり令和8年7月10日(金)に  
「東山スカイタワーをより魅力的な公共空間にすると共に  
改修に要する財政負担の低減に寄与する事業アイデアについて」  
をテーマとした公民対話の機会を開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

## 記

### 1 テーマ

「東山スカイタワーをより魅力的な公共空間にすると共に  
改修に要する財政負担の低減に寄与する事業アイデアについて」  
※詳細は、別添「対話テーマについて（東山スカイタワーをより魅力的な公共空間にすると共に  
改修に要する財政負担の低減に寄与する事業アイデアについて）」をご参照ください

### 2 開催日時

令和8年7月10日(金) 13時30分～17時00分のうち30分  
※企業様と担当部署との1対1での意見交換30分×5企業を想定しています

### 3 開催場所

名古屋市役所本庁舎内の会議室（個室）にて対面開催（名古屋市中区三の丸三丁目一番一号）  
※場所や時間の詳細は、お申し込みの完了後に改めてご案内いたします。

### 4 募集について

#### 【募集数】

先着5企業まで

**【募集期間】**

会 員：6/10（水）～6/30（火）

非会員：6/17（水）～6/30（金）

※会員の皆様は優先的にご応募いただけるよう非会員の皆様よりも早くお知らせしています。

**【応募方法】**

LoGo フォームによる申し込み

<https://logoform.jp/form/mX9C/1614897>

**【応募要件】**

- ・テーマに対して「こんな提案をしてみたい」「担当者に話を聞いてみたい」など、意見交換に前向きであること。
- ・別添「公民対話の機会について（留意事項）」をお読みいただき、本取組の趣旨・取扱いについて理解いただいていること。

以上、よろしく願いいたします。

-----  
名古屋市総務局 総合調整部 総合調整課  
八木 裕美子（ヤギ ユミコ）

■サテライトオフィス「NAGOYA FRONTIER TERRACE」

〒462-8739 名古屋市北区名城 3-1-1

愛知学院大学名城公園キャンパス アガルスタワー2 階

TEL①：080-7587-2762

TEL②：070-6982-8623

■名古屋市役所

〒460-8508 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目 1-1

名古屋市役所本庁舎 4 階

TEL：052-972-2215（FAX：052-972-4112）  
-----

テーマ詳細はこちらから▶



2026/ 7/10 (金)

# 「公民対話の機会」 参加企業募集のお知らせ 【テーマ】

「東山スカイタワーをより魅力的な公共空間にすると共に  
改修に要する財政負担の低減に寄与する事業アイデアについて」

## みなさま、名古屋市と意見交換していただけますか？

公民連携推進施策 **ナゴヤフロンティア** では、行政課題・社会課題の解決や、新たな公民連携プロジェクトの創出等につなげていくことを目的として、民間企業等の皆さまと、市の担当部署とが1対1で意見交換をさせていただく「**公民対話の機会**」を開催しています。

テーマに関する **率直なご意見** から、**課題の解決方法**、**連携方法の模索** まで、公・民ともにヒントとなる様々な意見が交わされることを期待しています。

皆様からのエントリーをお待ちしております！

**開催日時** 令和8年7月10日（金）13:30～17:00（担当部署との1対1での意見交換 30分×5社）

**開催場所** 名古屋市役所内会議室（名古屋市中区三の丸三丁目1番1号）※対面開催

**募集内容** 先着5社まで（1社ずつ入れ替わりで実施します）

★申込フォーム★

**募集期間** 令和8年6月30日（火）まで ※定数に達し次第募集終了

**応募方法** 右記の専用フォームよりお申込み下さい。

<https://logoform.jp/form/mX9C/1614897>



お問合せ先

総務局 総合調整課（公民連携担当） ☎ 052-972-2215  
✉ [nagoya-frontier@somu.city.nagoya.lg.jp](mailto:nagoya-frontier@somu.city.nagoya.lg.jp)

「公民対話の機会」対話テーマ

東山スカイタワーをより魅力的な公共空間にすると共に改修に要する財政負担

の低減に寄与する事業アイデアについて

所属	緑政土木局 東山総合公園 管理課
概要	<p>・東山公園展望塔（以下、スカイタワー）は防災行政無線中継基地を備えた展望塔として、市制 100 周年事業の一環として平成元年に建設された施設である。開館 40 年を控え諸施設の老朽化が進み、大規模改修が必要となっているが、100m を超える特殊な形状の建物であることから改修には多額な費用（令和 2 年度調査時点で約 61 億円）を要する。</p> <p>・本件は、スカイタワー及び周辺エリアを「より魅力ある公共空間」とし、利用者満足度の向上や財政負担低減を目指すという視点から、民間企業の考えやアイデアを伺い、ともに可能性を探っていきたいと考えるものである。</p>
意見交換したい観点や聞いてみたい点	<p>○ スカイタワー及び周辺エリアを活用した事業の考えやアイデア</p> <p>○ 公民連携手法等による「収益還元の水準」や「資金の直接投入の可能性」の見解や提案</p> <p>○ 公民共創を進めるうえで想定される課題、懸念事項や要望</p>
特に意見交換を希望する業種等	<p>にぎわいと収益を持続的に生みだし、東山スカイタワー及びその周辺を「より魅力ある公共空間」とする事業に関心のある事業者を歓迎します。※業種は問いません。</p> <p>【特に対話を希望する事業者像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園や公共空間を、人が日常的に集まる場へ継続的に育ててきた事業者</li> <li>・自社の事業だけでなく、多様な事業者やイベントを巻き込み循環させるプラットフォーム運営に強みを持つ事業者</li> <li>・公共施設の整備・運営に実績がある事業者</li> </ul>
これまでに実施した施策・関連事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカイタワー大規模改修計画立案</li> <li>・市民意向調査</li> <li>・事業性調査委託（令和 8 年 5 月契約、10 月中旬完了予定）</li> </ul>
備考	<p>・本件では、未確定事項が複数あることを前提とし、率直なご意見・ご提案を伺いたい。未確定事項については、対話で得られた情報等を参考に、検討をすすめていく予定。</p> <p>※本件の対象範囲・前提条件・現状の詳細等は別添資料参照</p>

# 「公民対話の機会」について

## ■目的

民間と行政が異なる視点・価値観から行政課題等の解決に向けて議論することで、新たな公民連携プロジェクトの創出等につなげていくことを目的とします。

## ■趣旨

「〇〇について聞いてみたい」といった、行政事業の企画立案前の気軽な意見交換を趣旨としています（事業推進の過程で必要とされる「サウンディング型市場調査」ではありません）。

## ■基本の流れ

開催時間	1テーマにつき 30分×5社程度（1社ずつ入れ替わりで実施します）
開催形式	対面を基本とします。
流れ	<ul style="list-style-type: none"><li>・進行は総合調整課が行います。</li><li>・最初に担当課からテーマの概要（課題感等）をご説明し、その後、フリーの意見交換を行っていただきます。</li></ul>

※テーマにより詳細が若干異なる場合があります。

## ■留意点

### 主旨等について

- ・「公民対話の機会」の対話内容は、今後の検討の参考とするにとどまることとし、双方の発言とも、あくまでも対話時点での想定のもので、その先の事業推進について何らの約束をするものではないこととします（公平性担保のため総合調整課が同席させていただきます）。
- ・参加実績は、将来、当該部署が行う事業者公募等における評価の対象とはなりません。
- ・対話の中で知り得た行政・民間双方の知的財産等に係る情報については、他に洩らさないことをお約束いただきます（開始前に書面にご署名いただきます）。

### 当日について

- ・参加に要する費用（交通費等）は、参加者の負担とします。
- ・対話中の撮影・録音は不可です（記録のため事務局が録音をします）。メモをお取りいただくことは可能です。
- ・記録のため事務局において議事録を作成いたします。

当該文書は行政文書公開請求の対象となりますが、万が一請求があった場合、参加企業担当者の個人情報及び企業の知的財産等に係る内容は原則公開いたしません（公開内容については参加者に対して事前ご相談させていただきます）。

- ・終了後、対話テーマ及び対話の開催概要を公民連携ポータルサイトで公表します（公表内容は参加者に対して事前に確認をします）。なお、企業の知的財産等に係る内容は公表しません。